

校長室の小さな窓

「今年1年を振り返ろう」

今年も残すところ、あとひと月となりました。12月は1年間を振り返る月でもあります。そこで、今回は「犬と私の10の約束」という2008年に公開された映画のことを書きます。

この映画は、14歳の主人公の少女が子犬を飼うことになり、そのとき、お母さんから犬を飼うときの10の約束を教えてもらいます。その後、お母さんは病気で亡くなり、その悲しみを乗り越えて、犬と一緒に成長していく少女の様子が描かれています。犬や猫を飼っている人は、そのペットを想像しながら読んでください。

- ① 私の話をがまん強く聞いてくださいね
- ② 私を信じて私はいつもあなたの味方です
- ③ 私とたくさん遊んで
- ④ 私にも心があることを忘れないで
- ⑤ ケンカはやめようね
- ⑥ 言うことを聞かないときは理由があります
- ⑦ あなたには学校もあるし友だちもいるよね でも私にはあなたしかいません
- ⑧ 私が年をとっても仲良くしてください
- ⑨ 私は十年くらいしか生きられません だから一緒にいる時間を大切にしうね
- ⑩ あなたとすごした時間を忘れません 私が死ぬとき おねがいします そばにいてね



どれも意味のある約束ですね。映画では、初めはかわいい子犬に夢中になり、10の約束を守っていた少女ですが、24歳になり、仕事や恋で忙しくなり「犬がいると旅行にも行けない」などと犬に冷たく当たるようになります。

しかし、久しぶりに犬を抱きしめたとき、犬の体が小さく、軽くなっていることに気づいてこの約束を思い出すのです。そして、犬が亡くなるとき、この約束が守っていたか振り返り、もっと大切にしてあげればよかったと後悔します。

この話のように、私たちは一緒に長い間生活をしていると、その状況が永遠に続くようになります。でも、そんなことはないのです。それは、犬だけでなく人の場合も同じです。どんなに大切な人とも別れるときが必ず来ます。今の状況を大切にして、自分を支えてくれている人やものの存在に感謝できる人になってほしいのです。

1年を振り返ってみてください。身近な人やものに感謝できていましたか？